

お元気ですか



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878
あぞの事務所: 846-2046 県議会 823-9524
北本町事務所: 高知駅前通り 090-1172-1599

初月地区防災連合会 『出前学習会や個別相談に応えます!』

盛土など土砂災害に備えて、身近な「前兆」知ろう

無くならない土砂災害を知る

先日、初月ふれあいセンターで地区防災連合会が主催の土砂災害に備える学習会が開催されました。初月地区防災連合会・会長の松下さんは「この地区は土砂災害のリスクが高い、対策を行うにもお金がかかり個人では難しい、行政の支援が重要になる、力を合わせましょう」と挨拶しました。

土砂崩災害対策の必要性

講師は地質の専門家・森直樹さん。土砂崩れには2種類あり、自然斜面や人工斜面の崩壊。また盛土による災害です。

国は一昨年前の熱海の土砂災害を受け、特に盛土造成地に対して「盛土規制法」を今年の5月から施行し、危険な盛土等を規制する事になりました。現在、高知市を含め市町村が先頭に基礎調査が始まっています。令和7年には規制区域が指定される予定です。

高知県では平成23年8月に北川村の平鍋地区で土石流が発生、近年では、豪雨により高知市円行寺地区からの土石流により久万川上流の河川堤防が決壊する水害等が起きました。

必ずある「前兆」見逃さない

危険性が指摘される「盛土」の分布は市内北部の場合、円行寺・四季豊台・つづじヶ丘、中万々中、西久万にあるとの報告です。イエローゾーン・レッドゾーンであるか知る必要があります。

地盤災害は、地形や地質を原因に発生するので長年にわたり地盤に前兆現象が現れるそうです。例えば、亀裂、樹木の傾き、斜面の膨らみなどが現れる様です。初月地区は、これから出前学習会の開催や個別相談にも取り組み、地域の災害対策計画を作って行きたいと話しています。

おたまじゃくし

「衝撃」が続く！政治の刷新は出来ないものか。

マイナ保険証を強行する裏には企業から自民党への献金、ふざけるなど言いたい。物価高騰や教育の不平等、高齢者の貧困化、実質賃金は25年下がり続け開く格差。どう賃上げを実現させるか。企業に任せてはダメと行政が気づくべきだ。県政が今、やるべきは何か。

県民の心、暮らしが見えてないと感じた6月議会。

知事は冒頭、「県民に共感されたい」と述べた。ベクトルがおかしくないか、県のリーダーが県民に共感するのが筋ではないのか。知事のスローガンは「共感と前進」その意味は？共感とは自分に共感して欲しい事で、前進とは国追随だと知った。高齢者いじめの国に物言えず、若者にチャンスどころか、県外流出が止まらない。

他市も行う「公契約条例」による賃金引き上げを提案しても「必要ない」と市場に丸投げ。さらに強烈に酷いのは県教育委員会、セクハラで臨時教員は自己都合退職に追いこまれ、一方で加害者が教壇に立つ事を県は認め行った。重大認識の欠如であるが教育長は、いまだ、被害者に会って謝罪も説明もしていない。



16才以上 免許不要

電動キックボード 解禁へ

走行の安全環境は大丈夫なの？

道路交通法が改正され、7月から免許なしで電動キックボードが免許なしで乗れる様になりました。

ナンバーが必要で市町村が発行します。

車体は時速20キロ近く出ますが、時速6キロ以下なら歩道も走行可能です。バイクや自転車とは違う乗り物です。

誰でも気軽に移動が出来るのですが、問題はないのでしょうか。

高知県警 「多様な意見を聞いていく」

衝突の懸念を視覚障害の方たちは指摘しています。多様な歩行者の安全を保障していく環境整備も県政の大切な仕事です。



無料 生活・法律相談会

8月20日 午前10時~12時
新屋敷事務所 皿田幸憲・弁護士
毎月・第3日曜日 開催中!